

# お知らせ

平成30年6月14日  
国土交通省中部地方整備局  
岐阜国道事務所

## 岐阜県内建設発生土処理対策委員会（概要）

岐阜国道事務所で実施している東海環状自動車道の西回り区間の「岐阜山県第一トンネル（仮称）」（延長4,931m）及び「広見トンネル（仮称）」（延長206m）の環境基準を超えるトンネル発生土の試験方法、仮置き方法、処理方法等を検討することを目的に、岐阜県内建設発生土処理対策委員会（平成30年度第1回岐阜国道東海環状案件）を5月24日に開催しました。



委員会の様子

### ○委員会名簿（※五十音順）

所 属	氏 名
岐阜大学 工学部	神谷 浩二 教授
岐阜大学 工学部	小嶋 智 教授
岐阜大学	佐藤 健 名誉教授
岐阜大学 工学部	篠田 成郎 教授
一般財団法人 自然学総合研究所	寺尾 宏 主任研究員
岐阜医療科学大学 保険科学部	永瀬 久光 教授

### ○委員会決定事項

#### 【重金属等調査試験方針】

- 本坑は、延長10m（地山1,000m<sup>3</sup>程度）に1検体で一次判定を行い、環境基準値を超過した場合は掘削ズリ地山250m<sup>3</sup>程度（1方毎に1山）に1検体で二次判定を行う。二次判定の結果が出るまでは仮置きを行う。
- 避難坑は、延長10m（地山200m<sup>3</sup>程度）に1検体で判定を行う。
- 分析は公定法を基本とする。
- 分析項目は、重金属等8項目（溶出量試験・含有量試験）、pH試験、EC試験とする。

#### 【仮置き方法】

##### （岐阜山県第1トンネル）

- 地表面は、アスファルト舗装とする。
- 周囲を側溝やコンクリート製の仕切壁で囲う。
- 仮置き土表面は、養生シート、土のう等で覆う。

##### （広見トンネル）

- 施工済みの他トンネル内に仮置きする。
- 底面にシート等を敷設する。

#### 【処理方法について】

- 沿線自治体等へ受入可能な土地について引き続き調整を行う。
- 必要に応じて汚染土壌処理施設等へ搬出し適正に処理する。